

民間航空機生産・整備拠点事業の状況について

1 概要

愛知県では、「アジア No. 1 航空宇宙産業クラスター形成特区」の中核プロジェクトとして、県営名古屋空港隣接地において、民間航空機生産・整備拠点誘致事業を推進している。

具体的には、現在3か所に分散している空港の駐車場を集約・整備して、残る2か所の駐車場用地（2.1ha）と国から取得した県有地（5.2ha）を一体的に整備した上で、民間航空機生産・整備に必要となる工場用地として平成26年度中を目途に事業者提供する予定である。

2 これまでの主な経緯

| | |
|-----------|---|
| 平成23年12月 | 国際戦略総合特区に指定 |
| 26年3月 | 国から国有地（約5.2ha）を取得（愛知県） 「名古屋空港周辺小道地区計画」を決定（豊山町） |
| 26年3月～4月 | 事業提案の公募（愛知県） |
| 26年5月～12月 | 空港駐車場の立体化工事 |
| 26年5月 | 事業予定者として三菱重工業株式会社を決定・公表（愛知県） |
| | 実施する事業：三菱リージョナルジェット（MRJ）の量産 設備投資額：200億円規模 年間生産額：当初（平成29年度）240億円規模 最大1,100億円規模（平成29年度からの5年間で拡大） 雇用者数：300人～500人規（平成29年度、派遣等を含む） |
| 26年7月 | 旧国有地（約5.2ha）の売払いを議決（愛知県議会） |

3 今後の主なスケジュール

| | |
|--------------|--|
| 平成26年7月～11月頃 | 旧国有地（約5.2ha）の工作物等撤去工事 工事後に三菱重工業株式会社に売り渡し（愛知県） |
| 7月～27年3月 | 駐車場用地（約2.1ha）の工作物等撤去工事 工事後に順次三菱重工業に売り渡し（愛知県） |
| 27年4月～6月 | MRJ試験機初飛行 |
| 29年4月～6月 | MRJ初号機納入 |

民間航空機生産・整備拠点誘致事業(位置図)

